

自然にも
深呼吸

奥入瀬溪流

Oirasekeiryu Eco Tourism Project

エコツーリズムプロジェクト

2009 実施報告書

奥入瀬溪流利用適正化協議会
奥入瀬溪流エコツーリズムプロジェクト実行委員会

マイカー交通規制の目的・背景

豊かな自然を快適に味わうために

奥入瀬渓流は、車で気軽に立ち寄ることができる国立公園である反面、観光シーズンは観光車両が殺到し、渋滞を引き起こしています。また、路上駐車やアイドリングしたままの車両も多く見受けられ、奥入瀬渓流の自然環境はもちろん、散策（ウォーキング）をしている利用者の方々にも決して良い環境とは言えません。

奥入瀬渓流利用適正化協議会では、「自然環境保全と渋滞解消」を目的とし、マイカー交通規制の試行に取り組んでいます。しかし、迂回路において大型車がすれ違い困難であることや、渓流沿いの国道102号は、もともと地域の生活道路や産業道路としての物流機能も担っています。

このため、規制車種や期間の拡大のためには、さまざまな課題が残っておりますが、今後毎年の試行を継続し、皆様のご理解をいただきながら定着を図って参ります。

- p4 **奥入瀬渓流エコロードフェスタの結果**
- p7 **奥入瀬渓流エコロードフェスタ イベント報告**
- p9 **奥入瀬渓流エコロードフェスタ エコツアー催行結果**
- p12 **その他催行ツアー結果**
- p14 **十和田奥入瀬認定ガイド**
- p15 **奥入瀬渓流エコツーリズム フォーラム 2009 開催報告**

はじめに

奥入瀬渓流は、十和田八幡平国立公園の中で最も保全基準の厳しい特別保護地区に指定されており、自然環境を良好に保全すべき地区です。

奥入瀬渓流利用適正化協議会では、自然環境保全と渋滞解消を目的に平成15年からマイカー交通規制を試行しており、今年で4回目の実施となりました。

マイカー交通規制は、自然環境保全や渋滞解消につながるだけでなく、本来の自然美や溪流美をそのままに活かす環境が創出される取り組みです。

このため、奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクト実行委員会では、「奥入瀬渓流エコロードフェスタ」として、マイカー交通規制中の環境の中で、奥入瀬渓流三里半ウォークやボランティアガイドウォーク、巨木探検ツアー等のエコツアーを催行しました。

また、平成22年の新幹線開業を控え、奥入瀬渓流の魅力を伝える「十和田奥入瀬認定ガイド」の養成もスタートすることが出来ました。

今後も、自然を尊重し、自然に感謝し、永続的に保全する努力を行いながら、奥入瀬渓流の自然の奥深さや幅広い魅力をより多くの方々を知っていただけるよう、官民一体となって取り組んで参ります。

また、これらの取り組みは、県内外の企業の皆様からの御協賛と地元関係団体をはじめ多くの皆様から支えられています。

ここに今年度の事業が無事に終了できましたことを事務局、スタッフ一同より深く感謝申し上げますとともに、今後ともよろしく一層のご理解、ご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

奥入瀬渓流利用適正化協議会
奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクト実行委員会

奥入瀬溪流エコロードフェスタの結果

昨年に引き続き、奥入瀬溪流マイカー交通規制が行われました。紅葉時期終盤の実施でしたが、昨年より多くのお客様にお出でいただくことが出来ました。

残念ながら2日目(11月1日)は、強風悪天候のため通行規制を中止することとなりましたが、皆様のご理解とご協力により円滑に2日間を終えることが出来ました。来年度以降も継続して実施を予定しておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

【規制の概要】

試行日時	H21.10.31(土)	H21.11.1(日)
気象状況	晴れ	
規制時間	9:00~16:00	
規制車両	マイカー車両 (バス、大型、中型車、 タクシー、自動二輪を除く)	降雨、強風により 中止
シャトルバス	焼山~休屋 20分間隔 800円(片道500円)	
シャトルバス利用者数	1,428人	
駐車場利用台数	1,890台	



シャトルバス運行状況 (石ヶ戸休憩所)



規制の状況 (子ノ口交差点)



規制中の溪流区間



規制中の溪流区間



規制中の溪流区間

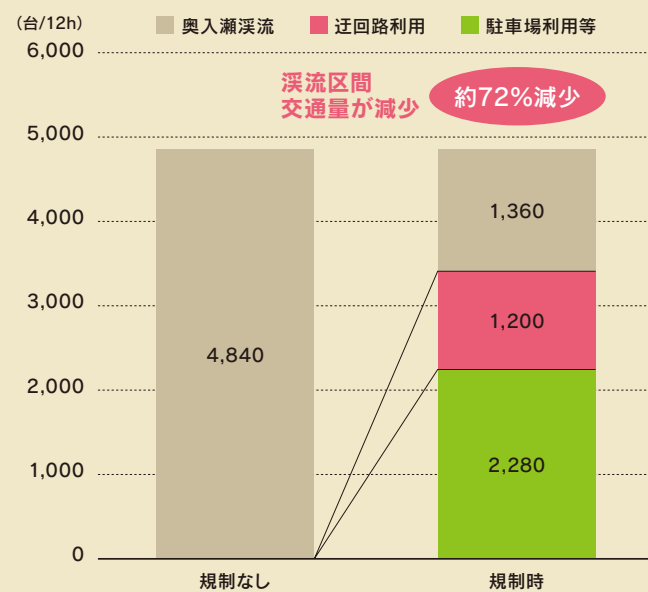


規制中の溪流区間



規制中の溪流区間

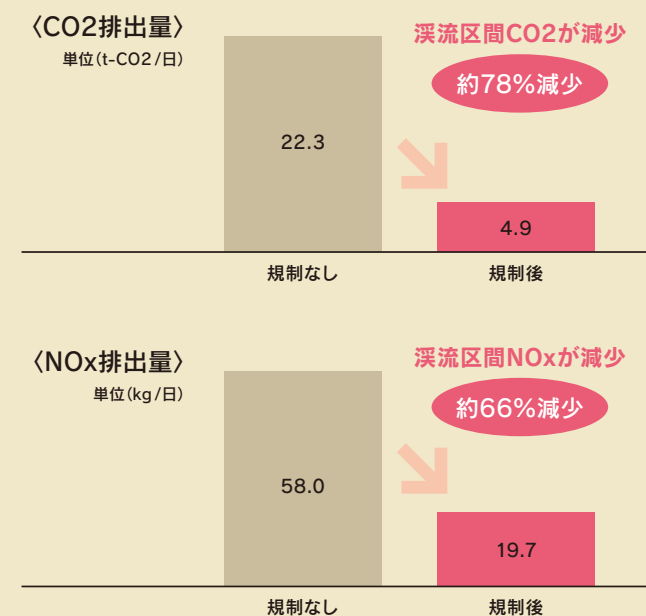
溪流区間の交通量は約72% (約35百台) 減少



※7:00~19:00の12時間交通量で比較
 ※「規制時」とは、H21.10.31調査結果
 ※「規制なし」とは、当日規制をしなかった場合に想定される交通量推計値

温室効果ガス・大気汚染物質が大幅に減少

マイカーを規制したので溪流区間の交通量の減少により、温室効果ガス(CO2)、大気汚染物質(NOx)が大幅に減少しました。

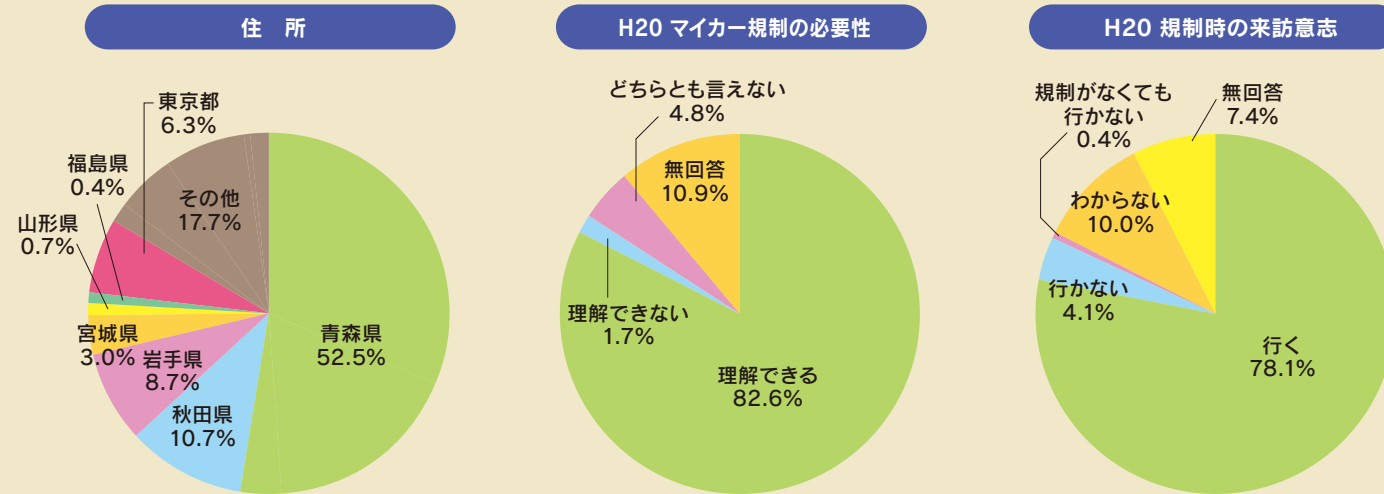


● 2日目の中止について

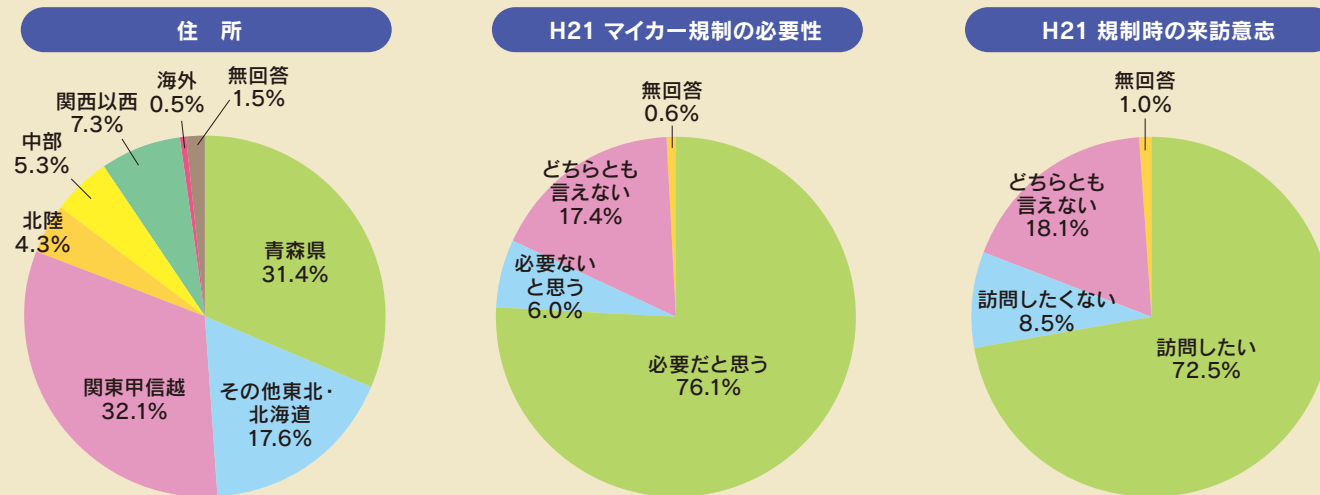
2日目(11月1日)は、上北地方に強風注意報が発令され、午前中を中心に10m前後の強風が予想されました。当日早朝には、倒木、落枝が確認され、焼山駐車場(シャトルバス乗り換え駐車場)の運営テントが強風により全壊したため、関係機関と協議の結果、やむを得ず中止としました。

【来訪者アンケート結果】

● 昨年 (H20) のアンケート結果 (サンプル数541件)



● 今年 (H21) のアンケート結果 (サンプル数1,965件)



フリーアンサー

- 観光シーズンなどで混雑しているときは、奥入瀬渓流の環境保護と渋滞解消のためマイカーを規制してシャトルバスを運行することが望ましいと思います。
- 平成 16 年の時の交通規制よりシャトルバス等がスムーズで大変良かった。今後はシャトルバスの自由な乗り降りと高齢者の方々への配慮が必要だと思う。
- 今後とも素晴らしい自然環境を守ってほしい。奥入瀬の自然体験や保護のためにも 5 月の新緑の頃など、交通規制の日数を増やすべきだ。
- 静かな奥入瀬を経験して、これまで如何に環境の悪い中を散策していたのか逆に理解出来た。大切な環境を残してこそその観光だと思うので規制を継続すべきだ。
- 環境保護のために青ぶな山バイパスの早期完成を望みます。
- 八戸からマイカーで来て焼山に駐車しました。シャトルバスがあるので不便無くウォークできました。車の音がない奥入瀬渓流を堪能することができました。

奥入瀬渓流エコロードフェスタ イベント報告

奥入瀬渓流エコロードフェスタの取り組みを多くの方に知って頂くため、奥入瀬渓流館（焼山）において開幕セレモニーを行いました。また、シャトルバス乗り換え駐車場では、セグウェイの体験試乗を行ったほか、十和田湖・奥入瀬渓流の写真展やガイドツアー（エコツアー）などを紹介するエコツアーステーションを設置し、多くの皆様にご来場いただきました。

【開幕セレモニー（焼山地区・奥入瀬渓流館）】



【エコツアーステーション（焼山地区・休屋地区）】

ECO
TOUR
STATION

エコツアーステーション

エコツアーステーションでは、十和田湖・奥入瀬渓流で行われているエコツアーについて、様々な情報を発信しました。「セグウェイ」の試乗体験（休屋のみ）、十和田湖・奥入瀬渓流写真企画展など、多くの皆様にお立ち寄りいただきました。

設置場所 休屋・焼山各会場内

情報を発信している主なエコツアーリスト

・ネイチャーランプリングツアー ・カヌーツアー ・マウンテンバイクツアー ・湖上クルーズ ・ランチクルーズツアー

※セグウェイの体験試乗は、休屋地区のみで実施しました。

【湖畔オープンカフェ(休屋地区)】



語りへの部屋



無料ふるまい



ミニ SL 運行



なまはげ太鼓



セグウェイ試乗

奥入瀬渓流エコロードフェスタ エコツアー催行結果

マイカー交通規制によって、普段とは違う静かな奥入瀬渓流が生まれます。この機会に、多くの皆様にその魅力を体感していただくため、奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクト実行委員会では、様々なウォークイベント、自然ガイドツアー等のエコツアーを催行しました。

エコロードフェスタ期間だけでなく、通年でのエコツーリズム観光推進に向けて、今後も幅広いメニューを検討し、皆様に提供していきたいと考えています。



“青森の秋”を感じませんか？

青森500選(4コース)チャレンジウォーク

青森県ウォーキング協会・NPOあおり観光誘客推進協会



日本市民スポーツ連盟認定大会

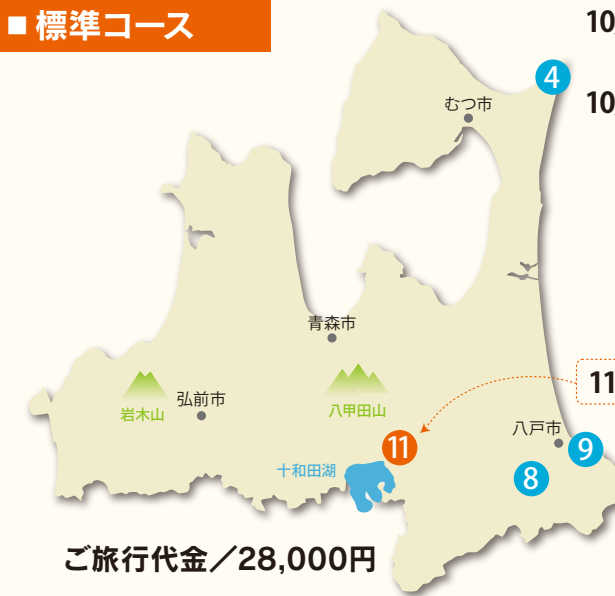
青森県内の「美しい日本の歩きたくなるみち500選」設定コース。奥入瀬渓流をはじめとする“青森の秋”を感じませんか？

青森県内の「美しい日本の歩きたくなるみち500選」設定コース

十和田湖奥入瀬渓流のみち 11	8.5km	種差海岸・渚と風のみち 9	8.0km
秘境・下北半島尻屋崎のみち 4	7.0km	ふくち里山バーデパークのみち 8	6.5km

※青森県内500選11コースの中で残り7コースは10月17日・18日開催の縄文の杜あおりTMせつかくウォークで企画しました。

標準コース



10/30 八戸前泊 燕島 八戸シーガルビューホテル
500選 青森 ④ のスタート地点にあるホテル

10/31 「美しい日本の歩きたくなる道 500 選」

[青森 ④] 7:30~9:30
種差海岸・渚と風のみち 徒歩/2時間 → 8.0km
種差海岸 9:40 〰️ バス移動 〰️ 下北半島・尻屋崎ビジターハウス

[青森 ④] 13:00~14:45
秘境・下北半島尻屋崎のみち 徒歩/1時間45分 → 7.0km
尻屋崎 15:00 〰️ バス移動 〰️ 18:00 十和田湖畔 休屋 〰️

11/1 休屋 8:15 〰️ 湖上遊覧 〰️ 9:05 子ノ口
[青森 ④] 9:10~12:00
十和田湖奥入瀬渓流のみち 徒歩/3時間 → 8.5km
石ヶ戸 12:15 〰️ バス移動 〰️ 14:00 南部町

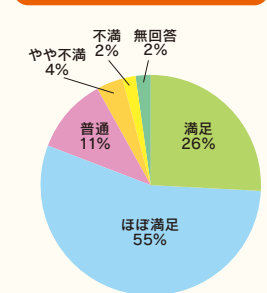
[青森 ④] 14:10~16:10
ふくち里山バーデパークのみち 徒歩/2時間 → 6.5km
南部町 16:20 〰️ バス移動 〰️ 16:40 八戸駅

ご旅行代金/28,000円

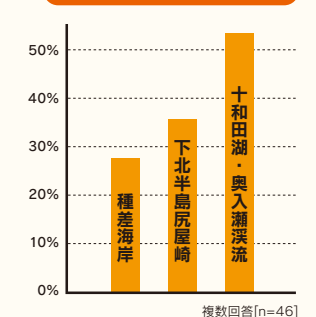
〈お客様の声〉

- ガイドさんの説明がわかりやすく、自然を大切にしている心が伝わりました。
- 素晴らしい滝を眺めることができとても楽しい一日でした。
- はじめて参加しましたが、もう一度訪れてみたいと思いました。
- 紅葉の季節だけではなく、四季をつうじて十和田湖の自然を味わいたいと思います。
- ウォークに参加して、奥入瀬渓流の持つ自然環境のすばらしさに感動しました。これからもこの自然が壊されませんように願っています。

ツアーに参加した感想は？



最も印象に残ったコースは？



FESTA MENU 2 全区間14km制覇! 5時間コース!
奥入瀬溪流三里半ウオーク
 青森県ウオーキング協会・NPOおもろ観光誘客推進協会

コース **14 KM**
 日本市民スポーツ連盟認定大会

～美しいブナ林の紅葉と溪流のせせらぎを歩く～奥入瀬溪流全区間14 km(三里半)、約4～5時間のコースです。

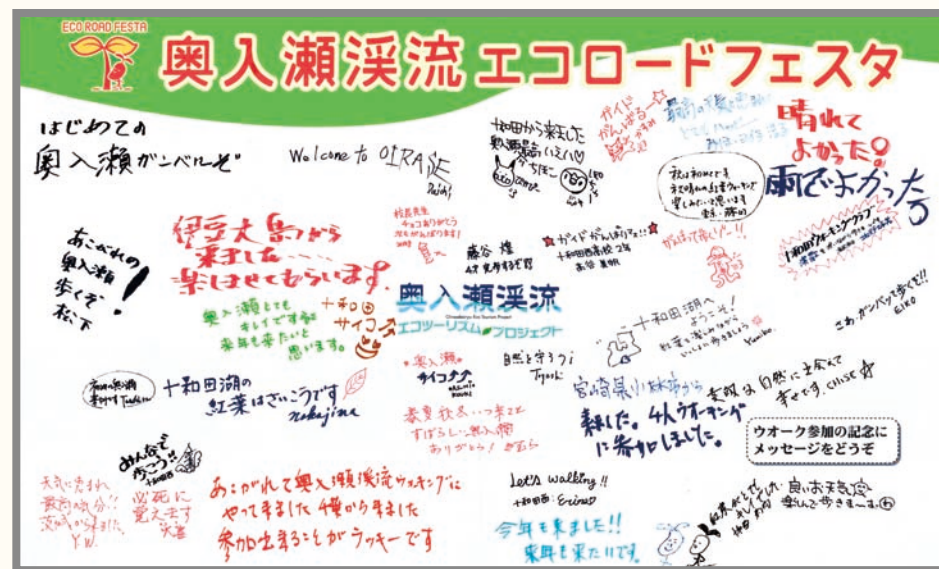
- 実施日/2009年10月31日、11月1日
- 集合場所/奥入瀬溪流館(焼山) / 集合9:40、出発 10:00
- コース/奥入瀬溪流館(焼山) → 奥入瀬溪流14 km → 子ノ口(遊覧船) → 湖上遊覧 → 休屋
- 参加費/3,000円 シャトルバス代、十和田湖遊覧船、傷害保険を含みます



受付風景



出発式



参加者メッセージ



〈お客様の声〉

- 奥入瀬溪流区間の中からバスに乗ることができたので、安心して歩く事ができました。歩いてこそ奥入瀬のすばらしさが体験できるということが良くわかりました。
- これからこのようなイベントを継続して、県外の方々にも訪れて欲しいと感じました。
- はじめて奥入瀬溪流の三里半をあるきました。想定以上に時間がかかったので、次回はゆとりをもってゆっくりと歩きたいと思います。
- シャトルバスを利用することで奥入瀬溪流のウォーキングを存分に楽しむことができました。
- 雨で遊歩道が歩きにくい箇所もあったので、自然環境に影響を与えない方法で改善される事を願います。

FESTA MENU 3 見所3km満喫! 1時間コース!
ボランティアガイドウオーク

コース **3 KM**

～奥入瀬溪流見所区間 約3 km(約1時間散策)～十和田西高校の生徒さんの協力による観光ガイドが同行します。

- 実施日/2009年10月31日、11月1日
- 集合場所/休屋・焼山各駐車場の受付テント
- スタート/10月31日、11月1日、9:00から20分ごとに出発、最終14:00
- 参加費/1,000円
- コース/

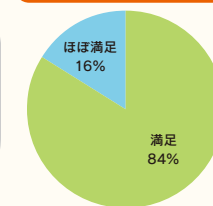
- [Aコース] 休屋 → シャトルバス → 石ヶ戸 → 徒歩3km(1時間) → 雲井の滝 → シャトルバス → 休屋
所要時間 約2時間10分
- [Bコース] 焼山 → シャトルバス → 石ヶ戸 → 徒歩3km(1時間) → 雲井の滝 → シャトルバス → 焼山
所要時間 約1時間40分



〈お客様の声〉

- 常時マイカー規制をすると良いと思う。ウォーキングの途中で食事をしたいので美味しい弁当を販売してほしい。
- 自然体験のメニューにネイチャーゲームなども取入れると良いと思う。
- 高校生ボランティアガイドさんが良かったです。ありがとうございました。
- 今日は雨でドロドロ道で歩きにくかったです。木のチップ等を敷いてほしいです。

ツアーに参加した感想は?



FESTA MENU 4 奥入瀬の自然スタディコース
巨木探検ツアー

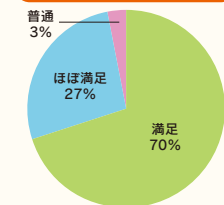
～日本一のブナの巨木を見に行こう～ボランティアガイドの協力による自然ガイドが同行します。

- 実施日/2009年10月31日、11月1日
- 集合場所/焼山駐車場の受付テント
- スタート/10月31日、11月1日、焼山受付テントから9:00、11:00、13:00 各回先着20名
- 参加費/1,000円
- コース/焼山 → ツアーバス → 下車 → 徒歩(5分) → 日本一のブナ → 徒歩(5分) → 乗車 → ツアーバス → 石ヶ戸 → 焼山
所要時間 約1時間20分

〈お客様の声〉

- 奥入瀬周辺にこのような巨木があることを知り大変興味深かったです。このような周辺の巨木を訪れる事ができるツアーがあると良いと思います。
- 巨木の姿に感動しました。もっと長時間眺めていたかったので周辺にベンチとかがあれば良かった。
- このようなガイドブックに載っていないような場所をまわるツアーが充実すると嬉しいです。

ツアーに参加した感想は?



その他催行ツアー結果

【クラブツーリズム(株) 催行ツアー】

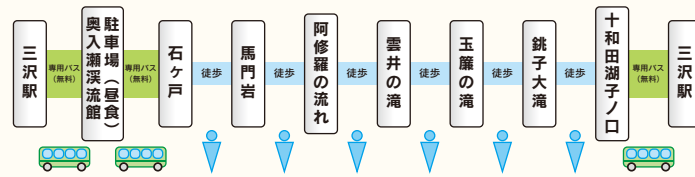
〈参加者の声〉

- 今回は時間にゆとりがあるツアーで、ネイチャーガイドの方がついてくださり自然の営みが理解できたりで、とても良い経験ができました。
- 天気に恵まれガイドさんの案内に本当に満足しました。季節を変えて奥入瀬渓流をまた訪れたいと思います。
- ハイキング等の案内表示に少し不安を感じました。個人でも歩けるように案内の仕方にもう少し工夫が必要な気がします。
- 今回の旅行のように、ウォーキングなどが体験できたり、ガイドさんから説明を受けることができるのは素晴らしい事です。機会があったらまた参加したいと思います。

【駅からハイキング JR 東日本】紅葉の奥入瀬渓流ハイキング

〈参加者の声〉

- 日本に残しておかなければならない自然、二度と作り直す事が出来ない自然が青森県には沢山あるので世界に誇る自然王国青森県になってほしいです
- ガイドさんやインストラクターの方々の説明が分かりやすく大変良かったです。
- 自然を大切にされている心が伝わりましたが、参加者の後の方にお声が届かず残念でした。ハイキングの途中にトイレがあったのも良かった。
- はじめてでしたが、季節の終りとはいえ、大いに紅葉を楽しめました。スタッフの皆様のお力添えとサービスに大満足の気持です。
- 交通規制が2日間では環境保護にはならないと思うので季節や期間の設定を検討すべきと考えます。



【エコカー試乗】

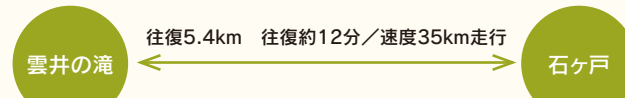


「奥入瀬渓流の環境問題、自動車利用の在り方を考えていただくことを目的に、石ヶ戸～雲井の滝間を電気自動車で試乗体験していただきました。」

■ 試乗日時 / 10月31日

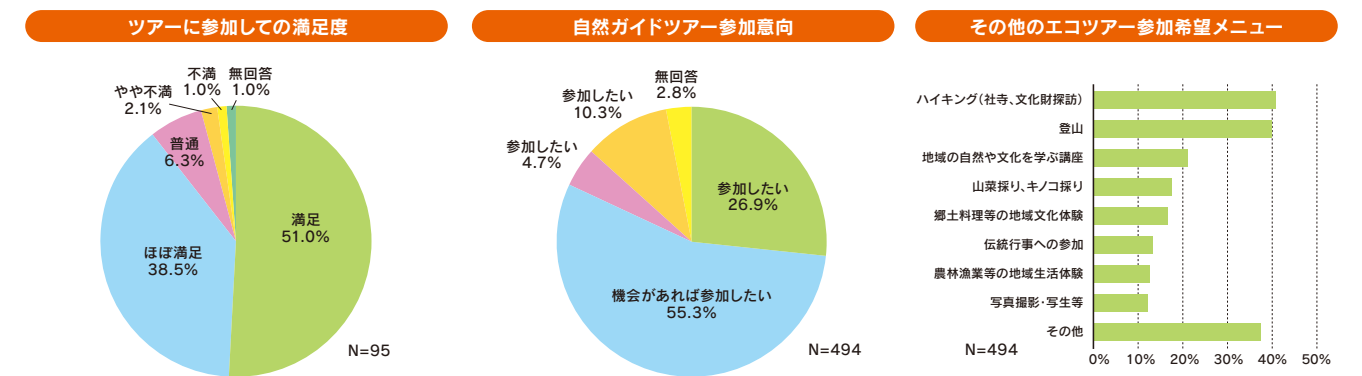
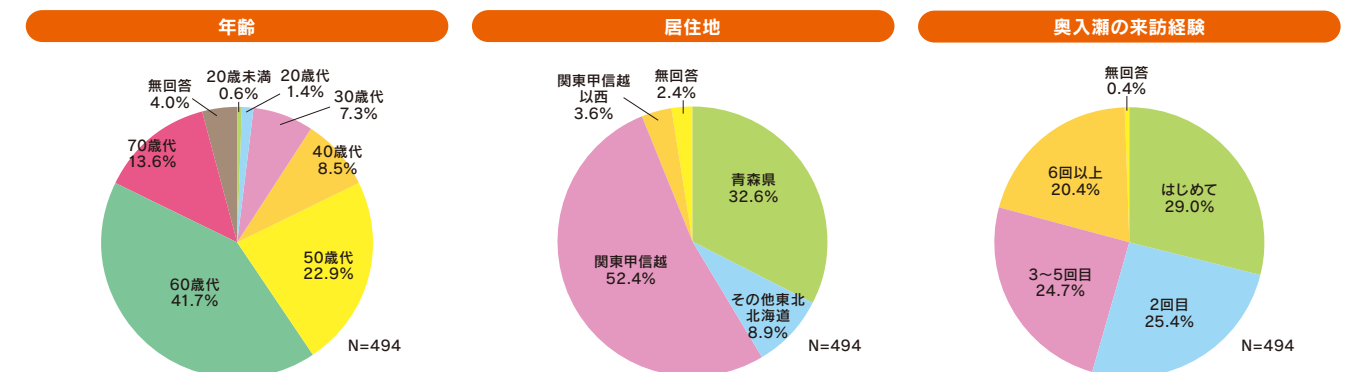
①10:40～11:40 ②13:00～14:00 ③15:00～16:00

■ 参加者 / 42名



【エコツアー・アンケート結果】

催行ツアー[主催者]	実施日	参加者	調査票回収
(1)青森500選チャレンジウォーク [青森県ウォーキング協会]	10/31,11/1	52	47
(2)奥入瀬渓流三里半ウォーク [青森県ウォーキング協会]	10/31,11/1	200	171
(3)奥入瀬渓流ボランティアガイドウォーク [NPO法人十和田奥入瀬郷づくり大学]	10/31	64	19
(4)巨木探検ツアー [NPO法人十和田奥入瀬郷づくり大学]	10/31	30	30
(5)モニターツアー [クラブツーリズム(株)]		926	191
色鮮やかな紅葉に包まれる十和田・奥入瀬名勝観音鼻溪船下り平泉中尊寺・遠野	10/8～11/3 (出発日)	213	164
秋彩る十和田湖・奥入瀬・八幡平・八甲田ネイチャーガイドと歩く世界遺産・白神山地	10/10～11/3 (出発日)	685	
たびともバスツアー [案内人と歩く白神山地・十二湖と奥入瀬渓流]	10/30 (出発日)	14	
お一人参加の旅 [案内人と歩く十二湖と奥入瀬渓流]	10/8～11/3 (出発日)	14	
(6)駅からハイキング [JR東日本]	11/1	50	36
(7)電気自動車試乗会 [(社)十和田市観光協会]	10/31	42	
合計		1,364	494



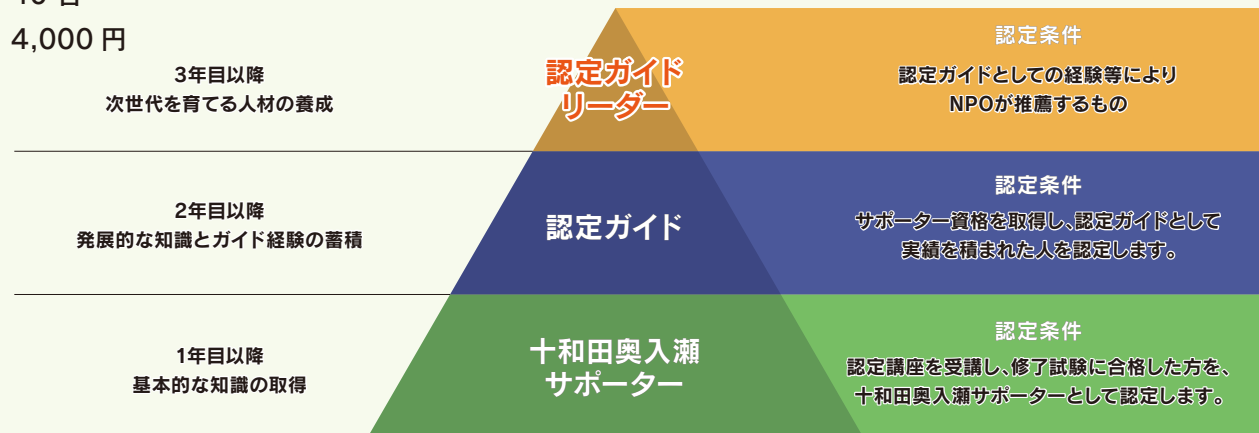
十和田奥入瀬認定ガイド

十和田奥入瀬地域における豊富で貴重な自然・歴史・文化を守りながら、訪れる観光客の皆様はその魅力を伝える自然解説員（ガイド）の養成を行いました。養成過程1年目の今年は、県内から計38名の皆様に参加いただき、25名を「サポーター」として認定させていただきました。来年度以降、認定ガイドへの昇格に向けた講座や現地研修を実施し、活動の場を広げていきたいと考えております。

実施主体：NPO法人十和田奥入瀬郷づくり大学

受講定員：40名

受講料：4,000円



【講座日程】

11月7日(土)	開講式 奥入瀬の大自然 十和田湖と大町桂月
サポーター講座Ⅰ	十和田湖・奥入瀬・八甲田の樹木 十和田湖の水質保全対策 十和田湖・奥入瀬・八甲田の植物
11月8日(日)	篇・八甲田概論 奥入瀬渓流概論 十和田湖概論 救急基礎
サポーター講座Ⅱ	
11月14日(土)	溪流館～石ヶ戸～子ノ口 往復 現地研修
11月21日(土)	修了試験
12月19日(土)	修了式 記念講演会
修了式	



「サポーター証」授与者（修了試験合格者）25名
 「認定ガイド証」授与者 4名（※）
 「認定ガイドリーダー証」授与者 11名（※）

（※）すでに奥入瀬渓流においてガイド活動をされている方は、一定基準を満たすことを条件に、認定ガイド、認定ガイドリーダーとして計15名を同時に認定しました。



奥入瀬渓流エコツアーリズム フォーラム 2009 開催報告

昨年に引き続き、「奥入瀬渓流エコツアーリズムフォーラム 2009 ～奥入瀬渓流世界遺産登録研究～」が開催されました。約300名の来場者を迎え、持続的な自然環境保全のあり方について、市民の皆様と一緒に考える機会となりました。

- 日時/平成21年9月28日(日) 15:00～18:00
- 場所/十和田市民文化センター
- NPO法人十和田奥入瀬郷づくり大学
- 共催/奥入瀬渓流エコツアーリズムプロジェクト実行委員会



基調講演



十和田市教育委員会教育長
米田 省三氏

テーマ

「瑠璃色の水、奥入瀬渓流は命を育む水」

十和田湖や奥入瀬渓流などには、かつて数多くの文人らが訪れ、当時の原始性を帯びた“青い水”や“緑の木々”の豊かな自然を賞嘆してきている。しかし、最近は環境のリズムによって神秘性が壊されているようであるので、エコツアーリズムの視点に立った観光推進や自然保護は新しいスタイルとして大いに期待が持たれると思う。

パネルディスカッション

コーディネーターに佐藤正昭氏（青森公立大学副学長）を迎え、「魅力再発見、私たちの奥入瀬」と題し、パネルディスカッションが行われました。



テーマ

「魅力再発見、私たちの奥入瀬」

青森県ウォーキング協会
理事長
中嶋 與志久氏



奥入瀬渓流路を歩いていると、自然のパワーを貰えるような気がする。今後、歩く観光を全面的に推進していきたい。

(株)青森放送放送部長
米澤 章子さん



奥入瀬渓流路を車椅子でも歩行可能にすることや、溪流沿いには15余りの名瀑が連なっており、それぞれの名称には口マンや物語が潜んでいると思われるので、調査研究をしてみたいかがだろうか。

全国巨樹巨木の会
会員
高瀬 英夫さん



奥入瀬川周辺には、森の神と呼ばれるブナの巨木が一本立っているが、これに類する魅力ある木々が残っているので安全に探索できる方法を検討して欲しい。

青森県立十和田西高校
3年
中村 史子さん



奥入瀬渓流の躍動感あふれる水の流れは生々としており、五感で自然力を実感できるので、溪流路の要所に休憩や写真撮影等の出来る場を設置することが望ましい。

協力企業・協力団体



エコツーリズムプロジェクトチーム員

私たちは、かけがえのない奥入瀬渓流の自然環境を保全するため、訪れる皆さんに自然の大切さを理解してもらい、持続的な保全と、自然環境を活かした地域振興を図る「奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクト」を応援しています。

KDDI 株式会社 コンシューマ東北支社

NTT東日本 青森支店 上北農産加工農業協同組合 田中建設(株)
東北電力(株)十和田営業所 丸井重機建設(株) 三菱製紙(株)八戸工場

紺野建設(株) 青森県農村工業農業協同組合連合会(JAアオレン) (株)青工 田中建設工業(株)
鳶温泉売店 東北インテリジェント通信(株) (財)十和田湖ふるさと活性化公社 十和田シティホテル
十和田食堂 (社)十和田青年会議所 十和田タクシー(株) (株)十和田ビルサービス (株)中達組
(有)ニタドリ 日本生命保険相互会社青森支社 八甲田農業協同組合 (株)福萬組 程川電気工事(株)
みちのくコカ・コーラボトリング(株) むつ小川原原燃興産(株) (株)吉田産業

※順不同

「併催イベント」提供・協力

十和田湖観光汽船(株)/[シャトルバスチケット特典提供]
十和田観光電鉄(株)十和田湖双胴船/[シャトルバスチケット特典提供]
十和田湖国立公園協会商店部会/[シャトルバスチケット特典提供]

※順不同

「併催エコツアー」協力

クラブツーリズム(株) JR東日本 青森県ウオーキング協会 NPOあおもり観光誘客推進協会
NPO法人十和田奥入瀬郷づくり大学 青森県立十和田西高等学校 (社)十和田市観光協会 ※順不同

「奥入瀬エコロードフェスタ」スタッフ協力

青森県警 青森県 十和田市 十和田市交通指導隊

※順不同

お問い合わせ

奥入瀬渓流利用適正化協議会事務局
奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクト実行委員会事務局
●代表 / 青森県県土整備部道路課整備推進グループ
TEL.017-734-9651

行くたび、あたらしい。

青 AOMORI 森

©青森県観光連盟 2010

